

JFA 第 26 回全日本フットサル選手権大会第 25 回長野県大会 実施要項

1. 名 称 JFA 第 26 回全日本フットサル選手権大会第 25 回長野県大会
2. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会，一般社団法人長野県サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会・長野県フットサル連盟
4. 協 力
5. 期 日

1 回戦：	① 2020 年 11 月 22 日(日)
	② 2020 年 11 月 23 日(月・祝)
2 回戦：	③ 2020 年 12 月 19 日(土)
準決勝：	④ 2020 年 12 月 20 日(日)
決 勝：	⑤ 2020 年 12 月 20 日(日)
6. 会 場

①～②：	筑北村本城体育館(東筑摩郡筑北村西条 3443)
③～⑤：	南長野運動公園体育館(長野市篠ノ井東福寺字上組北 320)
7. 表 彰

優勝チームは新潟県にて開催される同北信越大会への出場の権利を与え、その義務を得る。また、優勝以下 3 位までに賞状を授与する。優勝チームには優勝カップを与え、次年度大会まで保持せしめる。
8. 参加資格
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本サッカー協会」と記す)に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本サッカー協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル 2 種」のみとし、「フットサル 1 種」年代の選手は適用対象外となる。
 - ② 長野県フットサル連盟に加盟登録しているチームであること。なお、事務手続き上の理由で加盟登録前のチームである場合、そのチームの所在地が長野県にあり、過去一年間の活動実績が長野県にあることを証明できなければ参加資格は得られない。
また、チーム登録者の 70%が県内在住(この大会参加のため住民票移動は不可とする)であること。
 - ③ 第 1 項および第 2 項のチームに所属する 2004 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
 - ④ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
 - ⑤ 長野県フットサル 1 部リーグおよび 2 部の各リーグに属しているチーム間において、本大会のために選手を移籍して参加することはできない。ただし、その該当するチームそれぞれが本大会に参加する場合を除く。
 - ⑥ 選手および役員は、本大会で別のチームに登録(多重登録)していないこと。
 - ⑦ 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。

9. 参加チーム数

予選 1 回戦は最大 12 チームで開催する。

(11 チーム以下の場合は加算ポイントの上位チーム 2 回戦シード扱いとする)

2 回戦から参加のシードチーム数は 2 チーム(昨年度の優勝チームおよび準優勝チーム)とする。

以上応募受付順で最大 12 チームにて開催する。

10. 競技形式

① 1 回戦から 2 回戦：

2019 年度の全日本選手権大会長野県大会の試合結果、及び 2019 年度の北信越、及び長野県フットサル連盟主催の各所属リーグの最終順位(2020 年 3 月 31 日時点)を元にポイント加算し、参加チームをポイント順にシードチームを決定する。

[1]昨年度優勝チーム：第 1 シード(下記[3]以降の pt を問わず)

[2]昨年度準優勝チーム：第 2 シード(下記[3]以降の pt を問わず)

[3]昨年度 3 位チーム：加算ポイント 50pt

[4]昨年度ベスト 8 進出チーム：加算ポイント 30pt

[5]北信越所属チーム：1 部 40pt 2 部 30pt+順位ポイント(1 位 10pt, 2 位 9pt…8 位 3pt)

[6]県リーグ所属チーム：1 部 20pt 2 部 10pt+順位ポイント(1 位 10pt, 2 位 9pt…8 位 1pt)

※ 9 位以下は加算する順位 pt は無し。

[7]大学リーグ所属チーム：10 pt+順位ポイント(1 位 10pt, 2 位 9pt…)

[8]無所属・他 加算ポイント無し

上記の加算ポイントを集計し、加算ポイントの上位のチームから参加トーナメントの上位チームとして振り分ける。尚、第 1 シード、及び第 2 シードは 2 回戦からの参加とする。この 2 チームが不参加の場合、加算ポイントが上位のチームが当該シードチームとしての参加となる。シード以外のチームは 1 回戦からの参加となる。

大会主管元にて事前に抽選した対戦カードをもとに、1 回戦を最大 12 チームにてトーナメント戦を行う。

② 準決勝および決勝(トーナメント戦)：

準決勝の勝者 2 チームで決勝戦を行う。決勝戦の勝者が本大会の優勝チームとなり、敗者は 2 位となる。準決勝の敗者 2 チームは 3 位決定戦を行うことなく、その 2 チームを 3 位とする。

優勝チームは、次年度開催予定の本大会第 1 シードチームとなる。

準優勝チームは、次年度開催予定の本大会第 2 シードチームとなる。

11. 競技会規定

大会実施前年度の日本サッカー協会「フットサル競技規則」による。

ただし、4 秒カウントのみ大会実施年度の「フットサル競技規則」を適用する。

なお、以下の項目については、本大会の規定を定める。

① ピッチサイズ：原則として 40m×20m

② 試合球：モルテン製 ヴァンタッジオフットサル 4000 (F9A4000) 4 号ボール

③ 競技者の数

競技者の数：5 名以内

交代要員の数：9 名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

④ チーム役員の数

4 名以内（ただし、通訳が試合に登録されている場合は、5 名以内とする。）

⑤ 競技者の用具

[1]ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、参加申込書とともにユニフォームおよびビブスの写真を提出し、各試合には正副ともに必ず携行すること。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。（貼番を可とする）

(エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担すること。[ユニフォーム広告掲出届出書]は大会期間中携行すること。

(キ) ユニフォームの色、選手番号の参加申込み処理完了以降の変更は認めない。

(ク) シャツの下に着用するアンダーウェアは、シャツの袖の主たる色と同色のものを許可する。また、パンツの下に着用するアンダーショーツは、ショーツの主たる色と同色のものを許可する。ゴールキーパーは長いトラウザーをはくことができるが、事前にその色が登録されていることを条件とする。タイツの着用に関しては、アンダーショーツと同義とする。

(ケ) 交代要員がベンチ内で着用するビブスについて、登録したユニフォームの色と異なる色彩を 2 種類用意し、携行する。なお、感染症予防対策として、ビブスは選手固有のものを使用し、着回ししないこととする。

(コ) その他の事項については日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。

[2]シューズ：使用する大会会場の利用規定による。本大会は、靴底の接地面が飴色または白色もしくはノンマーキング (NON MARKING) の刻印が記された (色不問) シューズとし、ベンチ入り

する役員も同様とする。ただし、地域大会以上はこの限りではない。

- ・ すね当て：必ず着用のこと。また、試合中はストッキング等により完全に覆われていること。
試合前の用具確認時、ストッキング等で完全に覆うことが不可の場合、その選手は試合に出場できない場合がある。ストッキングの上からすね当てを固定する目的で使用するテープやサポーター等の色は、ストッキングの主たる色と同じまたは透明とする。
- ・ 装身具：材質を問わず全ての装身具の着用は許可しない。

⑥ 試合時間：

40 分間（前後半各 20 分）のプレーイングタイムとする。

⑦ 規定時間内で勝敗が決しない場合の勝者を決定する方法：

1 回戦～2 回戦：延長戦を行わず、PK 方式を用いて勝者を決定する。

準決勝および決勝戦：10 分間（前後半 5 分）の延長戦（タイムアウトなし）を行う。延長戦でも勝敗が決しない場合は PK 方式を用いて勝者を決定する。

⑧ インターバル：

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は、1 回戦から準決勝は 7 分間とする。決勝戦は 10 分間とする。

規定時間内に勝敗が決しない場合の延長戦については 1 分間とする。この延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。また、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

⑨ 警告、退場（退席）：

- ・ 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手および交代要員は、次の 1 試合に自動的に出場できない。ただし、1 回戦から 2 回戦で受けた警告 1 回は準決勝に持ち越さない。準決勝以降に受けた警告 1 回は決勝戦まで持ち越す。
- ・ 前項により出場停止処分を受けたとき、または本大会の終了のときに警告の累積は消滅する。
- ・ 本大会期間中に退場を命じられた選手および交代要員は、次の 1 試合に出場できず以降の処置については、本大会主管元にて決定する。
- ・ 本大会期間中に退席を命じられた役員等は、その処置について本大会主管元にて決定する。
- ・ 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

12. 参加申込み

- ① 参加希望チームは、日本サッカー協会によるチーム登録を完了していなければならない、「チーム登録情報」として「チーム情報」と「選手情報」を申込み時に提出すること。
- ② 「参加申込書」に必要事項を記載すること。なお、記載し得る選手および役員は、チームへ登録済みであり、その上限は選手 20 名、役員 6 名とする。外国籍の選手は指定欄に○印で表現すること。
- ③ チーム登録情報、参加申込書を大会主管元担当者宛てにメールで申し込むこと。その際、一次ラウンドの希望日を添えること。シードチーム含め、申込み締め切りは 11 月 13 日（金）とする。
- ④ 大会主管元にて上述した参加申込書を受理後「プライバシーポリシー同意書」をメールで返信するので、自署済みのものを大会当日持参すること。
- ⑤ 必要に応じて「ユニフォーム広告掲出届出書」を用意し、大会当日、日本サッカー協会理事会の

承認証も持参すること。

⑥ 参加費 ¥12,000 を下記口座へ入金すること。

入金締め切りは 11 月 13 日(金)とする。

八十二銀行 松本営業所 (店番号 411)

普通口座 1334939

口座名義 一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会

※振込み名義はチーム名(略称可)としチーム名の前に F108 を記載すること

以上で本大会の参加申込み処理は完了となる。

なお、入金後、チーム都合で大会出場をキャンセルした場合、参加料の返金を行わない。

また、指定期日までに入金が無い場合、[参加申込書]を受領しても、キャンセル待ちのチームに参加権利を移譲するので注意すること。

⑦ 大会主管元担当者：

一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会 大会担当委員 下條 貴史

Mail : barbasal0110@gmail.com

Tel : 080-5141-6710

13. 参加料

① 1 回戦参加チームは参加費 ¥12,000 とする。

2 回戦進出チームは別途 ¥5,000 を追加徴収する。

また、準決勝進出チームは別途 ¥5,000 を追加徴収する。

※1 回戦参加チームが 11 チーム以下の場合で、2 回戦ヘシードとなったチームは②の 2 回戦からの参加を参照とする。

② 2 回戦から参加チームは参加費 ¥15,000-とする。

以降の追加徴収は行わない。

14. 経費

各チームの経費は各チームの負担とする。

15. 組合せ

1 回戦からの組み合わせは大会主管元にて抽選とする。

16. 代表者会議

参加全チームが参加する代表者会議は行わない。

17. 傷害補償

参加チームはチームの責任において傷害保険(物損対応可能なもの)に加入すること。

18. その他

① 1 回戦から決勝までの会場作成は、参加の各チームから最低 3 名の作業員を派遣し、大会主管元の指示に従い効率よく会場作成を行うこと。また、片付けに関しては別途依頼する。

② 参加選手および役員について、参加申込み後に変更が生じた場合、変更を認めない。参加申込み処理において質問などがある場合は、後述した 20. 問い合わせ先に確認すること。

③ 大会スケジュールを事前に確認し、遅延なく大会運営に協力する事。

特に試合前の MCM には遅刻しないこと。

- ④ 本大会の 1～2 回戦の審判は、参加チームに帯同するフットサル審判有資格者 2 名(内フットサル 3 級以上 1 名)が行うので、参加申込み時に帯同審判員を記載すること。仮に帯同不可な場合は参加申込書の帯同審判員欄を空白にし、参加申込書送付時に通知すること。また、帯同審判員不可の場合の審判割り当ては、一般社団法人長野県サッカー協会（以下長野県サッカー協会と記す）審判委員会より派遣する審判員とし、一試合につき決められたレフェリーフィーを大会当日、チームから長野県フットサル連盟へ支払うことに了承すること。記録は審判無資格者でも対応可能とする。

準決勝、及び決勝戦の審判員は長野県サッカー協会審判委員会より派遣する事とする。

レフェリーフィーは以下とする。

主審(主審もしくは第二審判)の割当てが不可な場合：1 試合 ¥5,000

副審(タイムキーパーもしくは第三審判)が割当て不可な場合：1 試合 ¥3,000

- ⑤ ボールパーソンを参加チームに割り当てる。
- ⑥ 各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真が貼付により顔の認証できるものであること。不携帯の場合は当該試合への出場を認めない場合がある。
- ※選手証とは、日本サッカー協会 WEB システム「KICK OFF」から出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。
- ⑦ マッチコーディネーションミーティング (MCM) は、前試合のハーフタイム終了直後、各チーム代表者と審判員により実施する。実施場所は大会当日告知する。なお、MCM の際、各チーム代表者はフィールドプレーヤー、ゴールキーパーの正副ユニフォームおよび 2 種類のビブスの写真を持参すること。また、第一試合の MCM は、第一試合開始 40 分前とする。
- ⑧ 大会期間中、参加する選手は必ず保険証または保険証のコピーを持参すること。
- ⑨ 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
- ⑩ 本大会申込み処理完了後、チーム事情などの理由により、大会参加が困難になり参加不可能となったチームは、次年度以降の本大会への参加申込みを認めない場合がある。
- また、参加不可能となったチームへの罰則は大会実行委員会にて協議し、決定する。
- ただし、新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合については、この限りではない。
- ⑪ 飲水に関しては、ベンチ内のシート上でスクイズボトル等に充填された水のみを許可する。飲水後、ベンチ付近にこぼれた水は、チームが責任を持って拭くこと。
- 感染症予防対策として、飲水は選手固有のスクイズボトル等で行うこと。
- ⑫ パワープレー要員が着用するシャツは、登録されたゴールキーパーのシャツのみ許可する。
- ~~⑬~~ 優勝カップ返還を 2 回戦第一試合前に行う。
- ⑭ 閉会式は決勝戦直後に行う。参加チームは準決勝進出 4 チームとし、優勝カップ贈呈と 3 位までの賞状授与を行う。
- ⑮ 本大会にて受けた累積警告の内、退場処分については北信越大会へ持ち越す事とする。
- なお、本大会を敗退したチームが最終試合にて退場処分を受けた者は、別途大会主管元よりそ

の処分の処遇を通達する。

- ⑯ 試合前の公式練習は、キックオフ 20 分前から 10 分間、ピッチ内でボールを用いて行うことを基本とする。しかし大会運営上、キックオフ時刻を優先する理由から、公式練習の 10 分間は担保しない。
- ⑰ 参加チームと選手は、日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程等）を遵守しなければならない。詳細については、日本サッカー協会ホームページを参照すること（<http://www.jfa.jp/>）。
- ⑱ 新型コロナウイルス対策として長野県サッカー協会のコロナ対策ガイドラインにしたがって開催を実施するが、ガイドラインに従わないチーム選手が出た場合は大会の中止もしくは出場を認めない。
- ⑲ 本実施要項に記載のない事項については、大会主管元にて決定する。

19. 問合せ先

一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会 大会担当委員 下條 貴史

Mail : barbasal0110@gmail.com

Tel : 080-5141-6710

以上